

平成26年
2月1日発行

ISHIKAWA town public announcement magazine



特集 2~5面

公共交通を考える

第66回成人式



第66回石川町成人式は1月12日、ホテル松多屋で開催され、198人が新成人となりました。

式典では、出席した173人が一人ずつ呼名され、代表して中井佑介さん、須藤菜那さんに成人証書が授与されました。

また、角田武秀さんから「建築を学び復興に寄与していくたい」、近藤美紀さんから「地域の役に立てる社会人になりたい」と二十歳の抱負が述べられました。

【写真上】鮮やかな振袖に身を包んだ新成人

【写真下】成人証書授与の様子



公共交通を考える

鉄道・バス・タクシー！…

鉄道、バス、タクシーなどの公共交通は日常生活において欠かせない、地域に密着した住民の足として存在しています。特に自動車を持たない学生、高齢者などにとっては重要な交通手段となっています。

しかし、近年の自動車保有率の増加、人口減少、少子高齢化などの環境変化により、公共交通の利用者が減少し続け、その経営は大変厳しい状況にあります。

路線バスで言えば、企業努力はするものの限界があり、維持するためには国や県、町の補助金が必要になります。

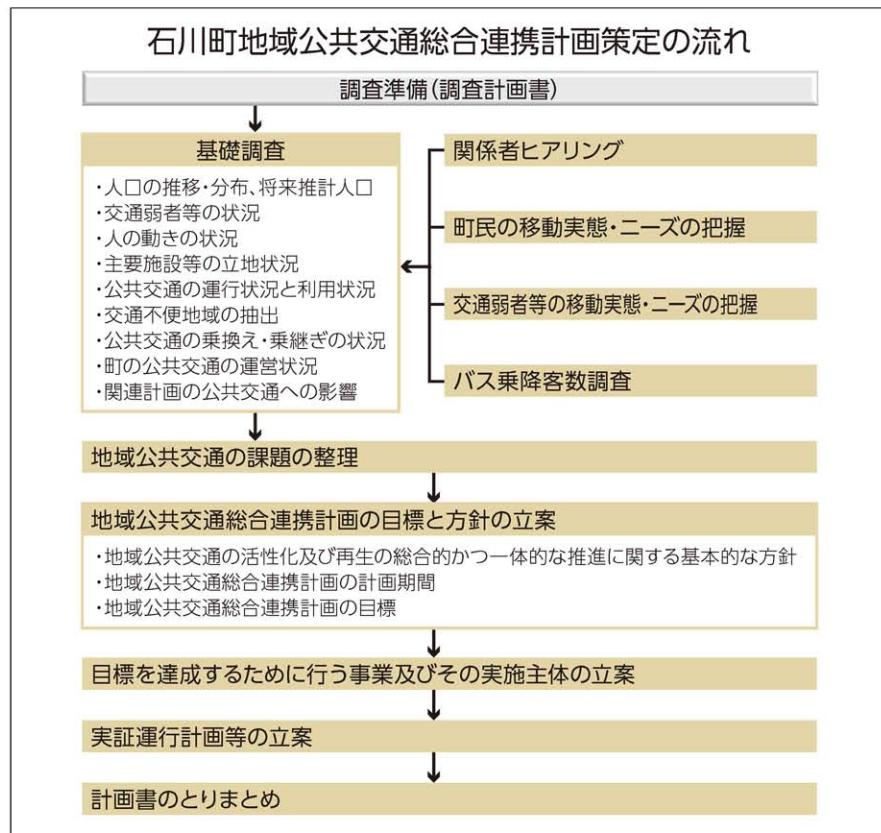
今回の特集では、今、開かれている石川町地域公共交通活性化協議会の動きや外出アンケート結果について紹介します。

町民のみなさんも現状を的確にうりえ、本町の公共交通の将来について一緒に考えていきましょう。



石川町地域公共交通活性化協議会を設立

本町の公共交通は、鉄道や周辺市町村との地域間路線で結ぶ12の路線バスが運行されており、このほかにも私立高校と中学校のスクールバス、病院の送迎バス、タクシーなどにより住民の生活の足が確保されています。



- ・人口の推移・分布、将来推計人口
- ・交通弱者等の状況
- ・人の動きの状況
- ・主要施設等の立地状況
- ・公共交通の運行状況と利用状況
- ・交通不便地域の抽出
- ・公共交通の乗換え・乗継ぎの状況
- ・町の公共交通の運営状況
- ・関連計画の公共交通への影響
- ・関係者ヒアリング
- ・町民の移動実態・ニーズの把握
- ・交通弱者等の移動実態・ニーズの把握
- ・バス乗降客数調査
- ・地域公共交通の課題の整理
- ・地域公共交通総合連携計画の目標と方針の立案
- ・目標を達成するために行う事業及びその実施主体の立案
- ・実証運行計画等の立案
- ・計画書のとりまとめ

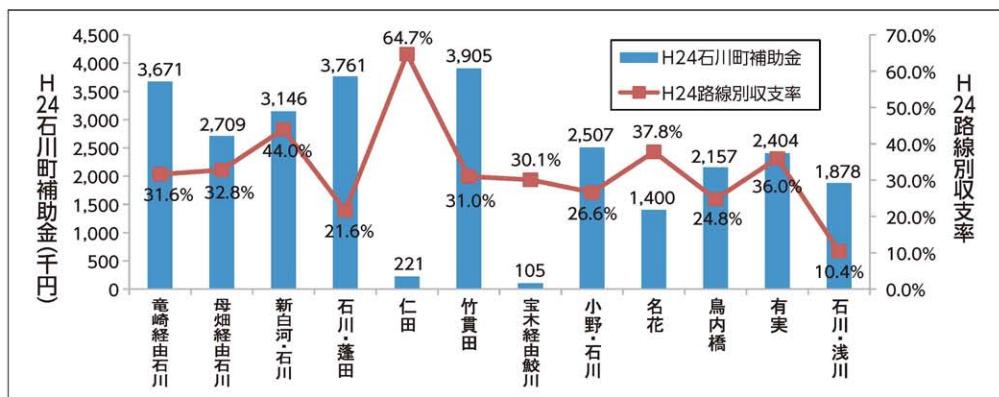
路線バスはすべて赤字

平成25年度は、地域公共交通調査事業（国土交通省補助）を活用し、石川町地域公共交通総合連携計画を策定しました。

することが急がれています。

このような環境の変化に対応し、将来にわたり持続可能な公共交通体系を構築するため、また、当面の公共交通の運行の見直しに必要な調査・分析、協議を行うため

要件を満たしていない路線が多く存在しています。そのため、現状と利用状況が変わらない場合、新白河・石川線以外の路線で国・県補助が受けられなくなる可能性があります。



町民外出アンケート 調査を実施

今回の調査事業の一環として実施した「町民外出アンケート調査」は、平成25年11月中旬から12月上旬にかけて各行政区長さんの協力を得ながら取り組みました。アンケートの目的は、移動の実態や問題を聞き取ることにより、現状の課題を見つけ、問題解決に向け検討する基礎資料とするものです。

アンケートの概要については表のとおりですが、回答結果から現状が明らかにされました。

アンケート結果から

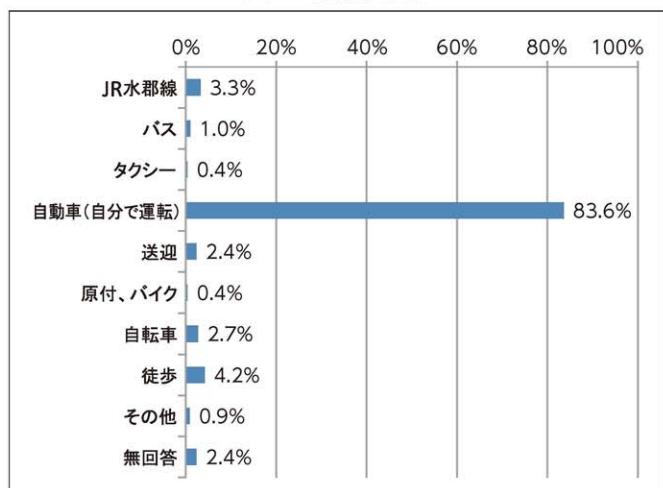
アンケートについては、回答者の属性を含め全24問ですが、今は一部をピックアップしてお知らせします。

なお、速報版についてはホームページ（行政情報）に掲載していますのでご覧ください。

- ・「通勤・通学している地域」が43・9%であった。
- ・「通勤・通学していない」は川地区」が18・2%で最も多く、次いで、「その他」が10・6%、「須賀川市」が4・6%であった。
- ・「通勤・通学していない」はが21・7%で最も多かった。

- 通勤・通学の手段（図1）
- 通勤・通学の手段は、「自動車（自分で運転）」が83・6%で最も多く、次いで、「徒歩」が4・2%、「JR水郡線」が3・3%であった。

図1 (複数回答)



- 通勤（通学）・帰宅時間は、「おおむね決まっている」が75・0%、「日によつて異なる」が17・1%であった。
- 通勤（通学）・帰宅時間は、「おおむね決まっている」が75・0%、「日によつて異なる」が17・1%であった。
- 「通院していない」は30・2%であった。

町民外出アンケートの概要

目的	移動実態や問題を聞き取ることにより地域公共交通の現状の課題抽出、問題解決の方向性の検討基礎資料とする。
実施方法	行政区を通じて配布・回収
調査期間	平成25年11月14日(木)～12月9日(月)
調査対象	町内に居住する町民（18歳以上）
配布・回収数	配布数：2,000票（無作為抽出） 回収数：1,733票（回収率：86.7%）
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> 目的別の日常の移動実態 町役場の来庁頻度と手段 外出時の困りごと 鉄道、路線バスの運行の認知度 路線バスを利用しない理由 町の支援による路線の維持方針 回答者属性

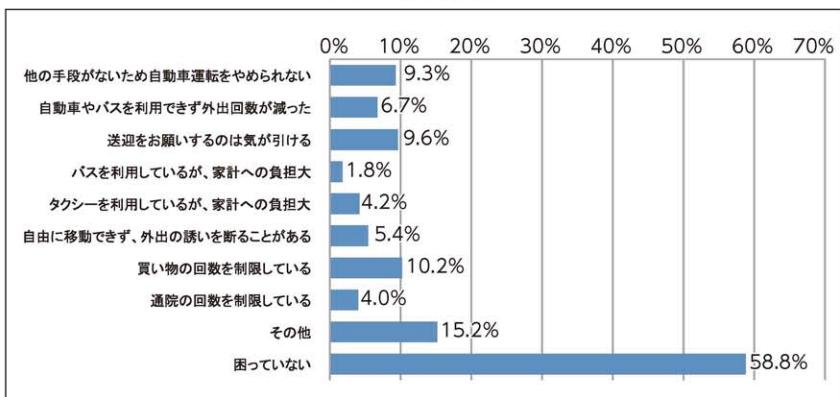
買い物に行く店舗で、「日常の買い物をしていない」は3・9%と少なかった。

図2



- 買い物に行く頻度は、「週2回」が30・6%で最も多く、次いで、「週1回」が25・5%、「週3回」が22・2%であった。
- 買い物の頻度は、平均週2・5回であった。

図 4 (複数回答)



- ・外出における困りごと（図4）
- ・外出する際に困る」とは、「その他」が15・2%で最も多く、

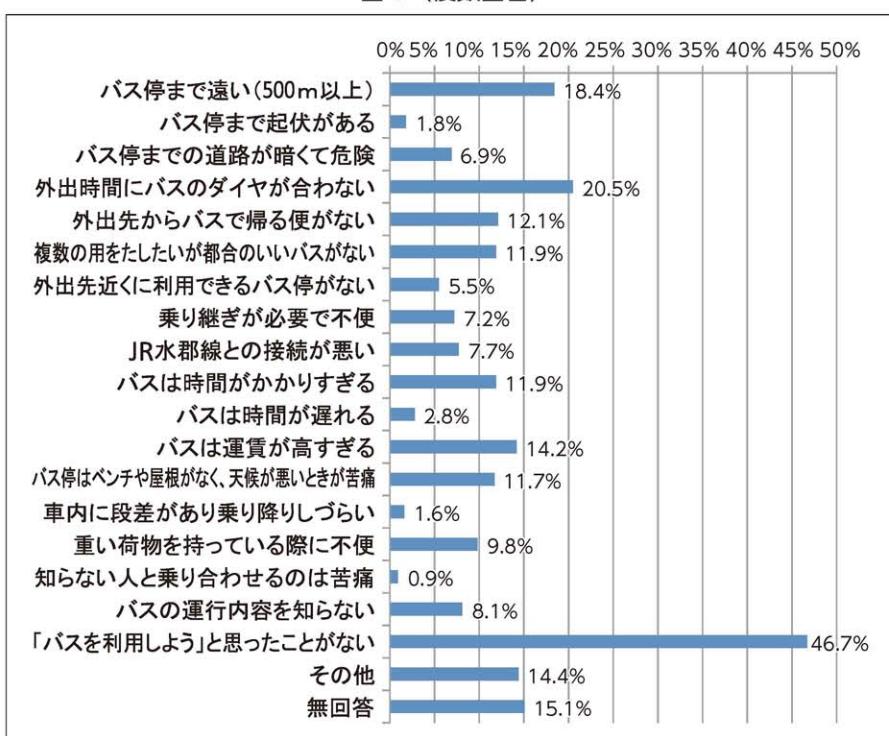
- 通院する頻度（図3）
 - 通院する頻度は、「月1回」が62・8%で最も多く、次いで、「月1回未満」が17・9%、「月2～3回」が9・3%であった。
 - 通院の頻度は、平均月1・4回であった。

●バスを利用しない理由（図5）
バスを利用しない理由は、「バスを利用しよう」と思ったことがない」が46・7%で最も多く、次いで、「外出時間にバスのダメヤガ合わない」が20・5%、「バス停まで遠い（500m以上）」が18・4%であった。

- 町内のバスについて知っていること

次いで、「買い物の回数を制限している」が10・2%、「送迎をお願いするのは気が引ける」が9・6%であった。

図 5 (複数回答)



- 今後の町のバスへの支援方針（図6）
- ・ 今後の町のバスへの支援方針について、「わからない」が23・8%で最も多く、次いで、「補助路線を削るなどをして抑制すべき」が21・9%、「現在

6



の想定額を維持すべき」が10%であった。

町・県民税の申告相談会が始まります

2月10日(月)から3月17日(月)まで、石川町共同福祉施設で「町・県民税の申告相談会」を開催します。平成25年1月から12月までの収入を金額の多少にかかわらず申告してください（内職も含みます）。なお、郵送による通知はありませんので、忘れずに申告をお願いします。

Q 申告をしなければならない人は？

A 平成26年1月1日現在、石川町に居住している方で、次のような方は申告をしなければなりません。

- 農業、商業、サービス業など、各種事業等を営んでいる方
- 地代・家賃等の所得、不動産・株式等の譲渡所得、年金・内職等の所得のあった方
- 給与所得以外に所得があった方及び2カ所以上から給与を支給された方
- 公的年金収入で400万円以上の方、または公的年金とそれ以外の収入がある方
- 公的年金収入のみの方で、医療費控除や雑損控除を受ける方

Q 何を持つていけばいいの？

A ● 各種事業等の平成25年中の収入、支出の決算書及び関係書類等

印鑑

- 国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料等の納入領収書（国民健康保険税は、納期を8期、また後期高齢者医療保険料は納期を7期で納入していただきたいですが、平成25年分の所得の申告では、平成25年1月1日から12月31日までに納入した納期分が社会保険料控除の対象となります。）
- 収書
- 生命保険料・介護医療保険料（平成25年1月1日以後に締結したものの・個人年金保険料・地震保険

Q 農業所得を申告する場合は？

A ● 田・畠の耕作面積、米、野菜、果実、家畜等、全農作物（農業受託料を含む）の販売明細書等

- 農業収入以外の収入（家賃・地代等）の明細書等
- 中山間地域等直接支払交付金にかかる収入・支出の明細書

Q 営業・その他の所得を申告する場合は？

- 売上帳、仕入帳、棚卸金額、現金出納簿等の帳簿類

- 料（経過措置により長期損害保険料のみ従前の損害保険料控除を適用）などの支払証明書
- 平成25年中に支払った医療費の領収書（10万円以上又は所得金額の5%以上を支払った場合、所得控除の対象になります。）
- 給与所得又は年金所得がある方は、源泉徴収票

国民健康保険に加入している方へ

- 営業・その他の収入を得るための必要経費の領収書等
- ※帳簿類や領収書等に不備があると、再度申告相談に来ていただく場合もありますので、あらかじめ帳簿類を整理してください。

臨時福祉給付金（仮称）の申請を行う予定の方へ

- 配偶者控除や扶養控除等の対象になっていない方で、平成25年中の収入がない方（0円）も申告が必要です。
- お問い合わせ先
保健福祉課 社会福祉係
☎ 261-9123

町・県民税申告相談会のお知らせ

月	日	曜日	申告相談地区		申告相談会場等	
			午 前	午 後		
2	10	月	収入が年金のみの方 (旧町内、中谷地区)		<ul style="list-style-type: none"> ● 申告相談会場 石川町共同福祉施設（2階） (石川町商工会館内) ● 申告相談会場の電話番号 ☎ 26-8228 ● 申告相談時間 ・ 平成26年2月10日（月） ～3月17日（月） (土・日・祝日を除く) 午前9時00分～11時30分 午後1時00分～4時00分 ・ 受付時間 午前の部 ～午前11時まで (但し、受付・相談会の状況により相談時間が午後になる場合があります) 午後の部 ～午後3時30分まで ● その他 ①該当地区の相談日に都合により申告できない方は、期限内の都合の良い日に申告してください。（土・日・祝日を除く） ②郵送による申告は、隨時受付けていますので、自分で申告書を作成された方は、期限内に関係書類を添えて直接、須賀川税務署に郵送して申告することもできます。 (須賀川税務署の住所) ☎ 962-0844 須賀川市東町96 須賀川税務署 ③「e-Tax（国税電子申告・納税システム）」を利用すると自宅から確定申告ができます。詳しくは、e-Taxのホームページ（http://www.e-tax.nta.go.jp/）をご覧ください。 	
	12	水	収入が年金のみの方 (沢田・野木沢・山橋・母畠地区)			
	13	木	上母畠	母畠第一		
	14	金	湯郷渡	北 山		
	17	月	山 形			
	18	火	板 橋			
	19	水	南山形	北山形		
	20	木	沢井三里（上沢井）・下沢井	沢井三里（大池）・鳥内		
	21	金	沢井三里（竹柄）	中 央・古 内		
	24	月	赤 羽	新屋敷（沢田）		
	25	火	中 田			
	26	水	形 見	谷 地		
	27	木	谷 沢	坂 路		
	28	金	双 里			
3	3	月	中 野			
	4	火	曲 木			
	5	水	塩 沢			
	6	木	王子平	新屋敷（石川）		
	7	金	当 町	松木下・猫 啼		
	10	月	新 田	本 宮		
	11	火	北 町			
	12	水	新 町・三 芦・高 田			
	13	木	南 町	荒 町・和 久		
	14	金	馬場町	古 町		
	17	月	予備日			



石川町役場税務課
 申告
 ☎ 26-19118
 須賀川市東町96
 〒962-10844
 須賀川税務署
 所得税確定申告
 課税係

お問い合わせ先

※ 雑損控除を受ける方で税務署の事前相談を受けた方は、雑損控除の「雑損失の金額の計算書」を持参してください。

※ 「町・県民税の申告相談会のご案内」の郵送による通知は行っていますので平成25年中に前賃の所得があった方は、各地区的申告相談日に必ず申告をしてください。
 ※ 肉用牛の免税を受ける方は、肉用牛売却証明書を必ず提出してください。

注意して
いただきたいこと

元気で住みよい地域を目指して…

みんながつくる！みんながつながるしくみ

◆◆◆ 地域自治協議会設立に向けて ◆◆◆

Vol.2

地域で考えてみませんか!! 地域コミュニティと地域自治組織

先月号では、現在の地域の課題・悩み等を解決するため、地域自治協議会のイメージ（概要）をお知らせしました。今月号では、地域自治協議会を設立すると、現状とどのように違いがあるのかを説明します。

★★今までのしくみ★★

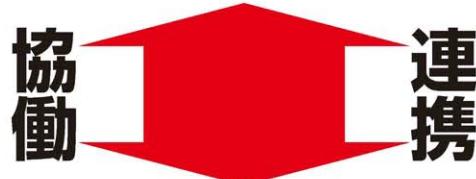


今まででは行政区の活動や地域課題の解決等については、行政区ごとに取り組んできました。そのため、地区ごとに抱える課題等や活動内容について共有しづらいこともありました。また、人口減少等の影響で今後の行政区活動に支障をきたすことも考えられます。

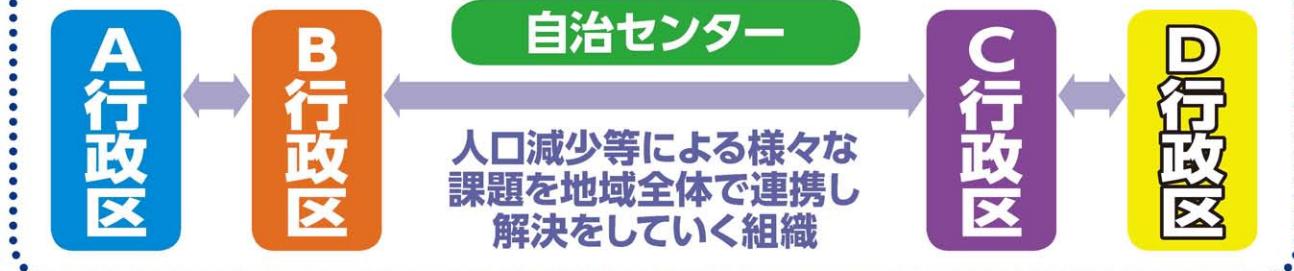
これからは、自治センターが窓口となった地域自治協議会を組織し、住みよい地域を目指していくため行政区が連携し、横のつながりを持つことで地域課題の共有やそれぞれが行ってきた活動で不足していること、重なっていることなどを工夫していくことができます。みんなで参加し、みんなで支え、みんなで住みよい地域を育てていきましょう！

★★これからの中のしくみ★★

町



○○地区自治協議会



石川町温水プール水泳教室生徒募集

温水プールでは、平成26年度水泳教室に参加する小学生を募集します。

参加希望者は下記によりお申し込みください。

- 申込受付期間 2月11日（火）～2月25日（火）
- 申込先 石川町温水プール（大字双里字川向2-2）
- 申込方法 申込書を提出していただきます。
※申込書は温水プール窓口にあります。電話での申し込みは受け付けません。
- 各教室の定員 キッズクラスは10名、ジュニアクラスは13名、ステップアップ・スピードクラスは15名
※応募者が定員を上回る教室は、調整又は抽選になり、受講できない場合がありますのでご了承願います。
- 各教室の内容



教室区分	対象	内容
キッズクラス	泳げない子	水泳基本動作、クロール
ジュニアクラス	少しでも泳げる子	クロール、背泳ぎ
ステップアップ	ひとつの泳法なら距離を泳げる子	4泳法の習得
スピードクラス	複数の泳法で泳げる子	4泳法のレベルアップ

- 教室・受講料 教室区分・対象・日程・受講料・講師は次のとおりです。

教室区分	対象	日程	受講料	講師
キッズクラス1	小1～3年生	4／5～全40回 土 午前10時～	20,000円	相楽真由美先生
キッズクラス2	小1～3年生	4／5～全40回 土 午前11時～		
キッズクラス3	小1～3年生	4／5～全40回 土 午後1時～		
ジュニアクラス1	小1～6年生	4／9～全40回 水 午後4時30分～	20,000円	吉田小夜子先生
ジュニアクラス2	小1～6年生	4／10～全40回 木 午後4時30分～		
ジュニアクラス3	小1～6年生	4／10～全40回 木 午後6時30分～		
ジュニアクラス4	小1～6年生	4／11～全40回 金 午後4時30分～	20,000円	相楽真由美先生
ステップアップ1	小1～6年生	4／9～全40回 水 午後6時30分～		
ステップアップ2	小1～6年生	4／11～全40回 金 午後6時30分～		
スピードクラス	小1～6年生	4／5～全40回 土 午後2時00分～		

【注意】

- ①各教室は1時間です。
- ②応募者が定員に満たない教室は、実施しない場合があります。
- ③後日、参加者説明会を開催します。
- ④受講料は参加者説明会の際に納めていただくことになります。
- ⑤受講料にはスポーツ安全保険料を含みます。
- ⑥教室参加者は受講料のほかに入場料が必要です。

- 温水プール入場料金（平成25年度料金表）

	1回券	回数券	半年券	年間券
小学生	100円	1,000円	2,000円	3,700円
中学生	200円	2,000円	4,000円	7,500円
一般	400円	4,000円	8,000円	15,000円

- お問い合わせ先 石川町温水プール ☎26-5884

※お申込み・お問い合わせは次の時間にお願いします。

火～金曜日 午後1時～午後8時30分 土・日曜日 午前10時～午後5時30分



街かど探検隊



学生が町の将来を考える 学生デザインワークショップ現地報告会

公益社団法人日本造園学会関東支部（小木曾裕支部長）主催の「学生デザインワークショップ・サマースタジオ2013」現地報告会は12月15日、石川町共同福祉施設で行われました。

「原発の被害を受けた土地と向き合う」をテーマに地域の将来像を考え、提案するというもので、全国10校の大学生と県立石川高校、石川中学校の生徒が参加しました。学生たちは8月に行った現地調査の内容をより深め、地域資源を生かした町の将来像について提案しました。

3年目の平成26年度もワークショップを行いますので、町民の皆様のご協力をお願いします。

沢田・野木沢小学校に 県産材を使用した机と椅子を導入

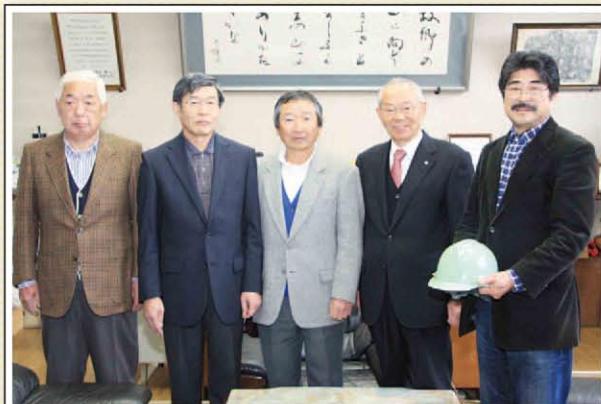
沢田小学校と野木沢小学校に福島県産材を使用した机と椅子が導入されました。

これは福島県森林環境交付金を利用して導入されたもので、子どもたちに木のぬくもりを伝え、森林環境整備及び森林資源の重要性に対する意識醸成を図りながら、県産材の利活用を図ろうと行われたものです。

子どもたちは県産材を使用した新しい机と椅子で一生懸命勉強しています。



▲新しい机と椅子で学習する野木沢小学校の児童



荒町地区自主防災会に 防災用品を交付

12月19日、町長室において荒町地区自主防災会（川西正昭会長）に対しヘルメット20個、長靴20足を交付しました。

同会は、住民の自主的な防災活動を行うことにより、地震その他の災害による被害の防止及び軽減を図ることを目的に平成25年4月に立ち上げられました。

防災用品を受け取った川西会長は、「よりきめ細かい、素早い対応ができるように励んでいきたい」とあいさつしました。





取材します！

身近に行われている楽しいイベントや明るい話題などを役場総務課までお寄せください。



(有)仲田種苗園が エコプロダクツ大賞特別賞の受賞を報告

有限会社仲田種苗園が開発した「フローラル・マット」が環境負荷の低減に配慮した技術などを表彰する第10回エコプロダクツ大賞で審査委員長特別賞を受賞し、12月20日、同社の仲田茂司社長が加納武夫町長に受賞の報告を行いました。

「フローラル・マット」は10種類以上の在来の花・野草を混植して四季の変化を楽しむことができる植生マットで、在来の植物種を使用しているため日本本来の生態系保全に寄与することができる点が評価されました。

全国の舞台で活躍 学石陸上部

男子第64回、女子第25回全国高等学校駅伝競走大会は12月22日、京都市西京極陸上競技場付設マラソンコースで開催されました。

大会には学校法人石川高等学校陸上競技部が出場し、男子が同校初めて8位に入賞する快挙を成し遂げ、女子は初出場ながら20位になるなど男女ともに活躍し大きな感動を与えてくれました。

12月24日には同校で男子大会入賞報告・女子大会報告会が行われ、より一層の活躍を誓っていました。



▲報告会の様子



防災の誓い新たに 石川町消防団出初式

石川町消防団（荒木強団長）出初式は1月5日、クリスタルロードで行われました。

出初式では加納町長等による閲団、分列行進のあと、中谷分団と母畑分団に無火災コンクール金賞、沢田分団と野木沢分団に銀賞が贈られました。また、団長表彰では他の模範となる団員に功績章が、屯所内外の機械器具等施設整備が優秀である部に消防施設整備優秀賞が贈られました。

式の最後には「さらに町民のみなさんから信頼を得られるような消防団を目指してください」と荒木団長が訓示し、団員は気持ちを新たに今年の無火災を誓っていました。

ライオンズクラブとシニアライオンズクラブが 善行生徒・スポーツ功労生徒を表彰

第44回善行生徒・スポーツ功労生徒表彰式は1月9日、みのり会館で行われました。

この表彰式は、石川ライオンズクラブ（矢内清史会長）と石川シニアライオンズクラブ（相樂道雄会長）が管内の中学生、高校を対象に毎年行っているものです。

当日は生徒会活動に尽力した生徒や学業が優秀な生徒など19名、スポーツで優秀な成績を収めた47名が表彰されました。

表彰後は受賞者を代表し、蛭田玲於さん（学法石川高3年）が「感謝の気持ちを持って頑張っていきたい」と謝辞を述べました。





HAPPY SMILE

ハッピースマイル



高原 まなみ 愛心ちゃん(8ヶ月)
はるな 陽菜ちゃん(5歳)
あやの 彩乃ちゃん(11歳)

「我が家3人娘です。
何事にも負けない様な健康で
元気が1番!! ガンバレー」
おとうさん・おかあさんより
山形字岸久内

- 「ハッピースマイル」では参加してくれるお子さん(3歳以下)を募集しています。気軽に問い合わせください。 石川町役場総務課 26-2111
- ハッピースマイルは電子メールでも受付しています。必要事項を記入し写真画像を添えお送りください。 koho_k@town.ishikawa.fukushima.jp



Q & A

青春ど真ん中

有松 祐人さん(20歳) ●大内

職業▶大日本印刷会社に勤務しています。

- Q** 今、情熱を傾けて取り組んでいることは何ですか
- A** 仕事はもちろん、小さい頃からやっていた野球はとてもおもしろいです。近頃の冬はスノーボードにはまっています。
- Q** 将来やってみたいことや夢を聞かせてください
- A** 温かい家庭を持ちたいです。かっこいい大黒柱になれるよう頑張ります。
- Q** 将来どんな町になって欲しいですか
- A** 活気あふれる元気な町になって欲しいです。
- Q** 最後に理想のタイプは
- A** キレイで心の優しい人です。



▶次回は、有松さんの紹介で関谷 葉さんです。

みんなが主役 協働と循環の まちの実現に むけて

石川町
第5次総合計画

る必要があります。また、長年住み慣れた地域で自立した生活を継続するため、自立を促進するための各種サービスや生活支援とともに介護予防の充実を図る必要があります。

高齢者が家族とともに、あるいは一人暮らしや高齢者のみの世帯でも、住み慣れた地域で在宅生活が継続できるよう自立生活の支援に努めるとともに、元気高齢者育成のため、仲間との交流や長年培った知識、経験を活かし社会活動に参加することや、趣味等の生きがい対策を推進します。

高齢者の自立と生きがいづくりを推進
第5次総合計画後期基本計画の部門別施策について紹介していきます。

高齢者福祉の充実においては、これまで高齢者が自立した生活が送れるよう住宅生活の支援に努めました。また、地域のサロンづくりを支援し、生きがい対策と社会活動への参加を推進しました。

これからも、高齢者が健康で生活できるよう、生きがい対策を推進するとともに、高齢者が社会参加や就業機会の拡充を図



▲サロンでの活動の様子

最近は温泉に行くのが楽しめます



氏名：瀬谷 梅男さん（75歳）

民子さん（73歳）

住所：湯郷渡字前ノ内

AQ お子さんは何人ですか
AQ 結婚されて50年、思い出を聞かせてください
AQ 子どもが4人、孫が4人になりました。
AQ 私たちは昭和35年に結婚し、養蚕や葉タバコ、大麦、小麦の栽培など農業で生計を立ててきました。大麦や小麦を刈り取って外に干しているときは、雨に濡らせるわけにはいかなかったので、天候が悪いときは忙しかったです。また、教育費に充てるため、山から原木の切り出しを行ったりもしました。子どもたちはみんな女の子で、小さなころから炊事、洗濯、掃除を教えてきました。子どもの家に行つたときに、手際よく料理をしていて、小さい頃の積み重ねが生きているように感じました。最近は温泉に行くの

AQ 町政に望むことは何ですか
AQ 石川町の一番好きなところを教え
てください
AQ 梅男：庭木の手入れをするのが樂
しみです。
AQ 民子：野菜や花を育てることです。孫と
が、やはり住み慣れた我が家が一
番です。

が樂しまで、娘に連れていくてもらつ
います。

故郷の歩みを学ぶ

いしかわの歴史

31 戦後の生活と新石川町の誕生

新しい憲法ができて、日本は民主国家としてスタートしましたが社会全体の混乱は続きました。特に経済は工業地帯の壊滅と農地の荒廃により物資が不足し、すさまじいインフレ（物価騰貴）がおきました。そのため戦時中から続いた配給は、米をはじめ味噌・油・灯油・衣服その他生活用品にわたり強化されました。しかし、米の配給は10日分しかなく国民は飢えに苦しみました。どうしても必要な物は、物々交換が閑値で買いました。

米を生産する農家も同じでした。昭和22年（1947）12月の調査によると、旧野木沢村の全440世帯のうち、252世帯が米の配給を受けました。残りの農家188世帯は「供出」を強制され、自家米の確保に苦労しました。

児童も悲惨でした。学校給食のないこのころ、現町内の小学校では昼休みになると教室を抜け出す子どもがいました。弁当をもつてこれらがいたのです。國民は子どもも含めて必死に働き

ました。米の生産も上昇し、旧石川町では29年に供出割り当てを上回る超過供出がありました。

戦争で苦しんだ日本でしたが、皮肉なことに25年6月に勃発した朝鮮

戦争が工業復興の原動力になりました。軍事物資の生産を受注したのです。この戦争の背景は、日本の敗戦と同時に植民地であった朝鮮が、半島の南部をアメリカ、北部をソ連が占領し、それぞれ国をつくらせて対立したことになりました。第一次世界大戦中から始まつた米ソ両大国との連合の対立が半島で火を噴いたのです。

連合国の中領下にあった日本は、サンフランシスコ講和条約により26年9月8日采陣當の一員として独立を回復しました。同時に日米安全保障条約が結ばれ、米軍の駐留が今日に至るまで継続することになりました。

政は「火の車」も同じ「火の車」だが、私は選ばれた光榮ある運転手だ、と述べました。

地方自治体の弱体は終戦直後から問題視されていましたが、政府は28年に「町村合併促進法」を施行し、後に「昭和の大合併」と言われる政

策を実施しました。目的は地方自治の基盤の強化であり、具体的には町村人口8千から1万人を事務処理上の適正規模とし、自治体数を3分1に減らすというものでした。

方法は知事が合併計画を決定し、市町村を指導するという強引なものでした。同年12月の県の案は、石川町・沢田村・中谷村・母畠村ブロック、山橋村・浅川町・山白石村ブロック、野木沢村・泉村・須釜村ブロックというものでした。これが30年1月には1町5カ村案にまとまり、3月31日に新石川町が誕生しました。この間、母畠・野木沢では激しい意見の対立がありました。



合併直前の町村長。場所は旧石川町役場（現郵便局）（『石川町史』第1巻による）

石川桜めぐり

所部 双岐桜

板橋字所部地内



特記事項	樹高	周囲	樹齢	樹種
板橋地内、石川製作所の入り口付近にある桜で、一本の桜があることから、地域では縁結びの桜として親しまれています。	13m	1.5m~1.6m	約100年	ヤマザクラ

＊見頃 4月中旬

食改さんのひと工夫!

人参ご飯

材料(4人分)

精白米	250g
人参	30g
しめじ	20g
オリーブオイル	大さじ1
塩	2g
パセリ又は人参の葉	1枝
白ごま	大さじ1.5



●作り方

- ①米は洗ってザルにあげ30分ほど置く。
- ②人参は洗って皮をむき、5mm×1.5cm角の薄切りにする。
- ③しめじは小房に分ける。
- ④鍋にオリーブオイルを熱し、②と③を軽く炒め塩で味付けをする。
- ⑤炊飯器に①の米と④の具と汁をあわせて入れ、米の目盛りまで足りない分の水を加えて炊く。
- ⑥パセリはレンジで2分ほど加熱して乾燥させ、細かく碎く。(レンジがない場合はフライパンで乾煎りにする)
- ⑦白ごまは、指で掠ってつぶし香りを出しておく。
- ⑧炊き上がった⑤のご飯に⑥のパセリと⑦の白ごまをふりかけ、全て混ぜ合わせたら出来上がり。

●食改さんのひと工夫!

彩りきれいな人参ご飯です。人参の苦手なお子さんでも食べやすい一品です。オリーブオイルを使っているのでピラフ風のご飯ですが、醤油やみりん、酒を加えると和風の混ぜご飯にもなります。油揚げを入れると風味やコクが出ます。自宅で人参を栽培している場合は、パセリの代わりに人参の葉を使って作るといいですよ。

●栄養士のひとこと

人参は秋から冬にかけてが一番美味しい時期と言われます。また、免疫力を高める作用があり風邪予防や疲労回復のほか高血圧の予防・改善、便秘解消などに効果的です。

人参の葉は、根に比べるとビタミンAが2倍以上あり、たんぱく質・カルシウム・鉄分なども豊富に含まれています。お店で売っている人参には葉がないと思いますが、自宅で作っている場合は捨てずに一緒に調理しましょう。

1日に必要な野菜摂取量は350g以上なので、もう一品野菜料理を食卓にプラスして健康維持に心掛けましょう。

い。
相談・連絡先
地域包括支援センター
保健福祉課
高齢福祉係
☎26-4606
大切なことは一人一人が介護予
防の意識を持つことです。いつも
でも元気な高齢者でいるためにも
今の自分にほどのサービスが使
えるのか…まずはご相談ください。

対象者	一次予防対象者 (元気な高齢者)	二次予防対象者	介護保険の対象者
	自分の仕事ができる、いろんな活動に参加している人(イキイキ、元気はつらう!持病と付き合いながら、楽しんで活動できる人)	身の回りのことはできているが、生活機能が低下してきており、このまま放置すれば介護状態になるおそれの高い人(生活の中で大変なことや億劫なことがある人)	要支援1・2 介護予防サービス利用により、生活機能の改善可能性の高い人
使用するサービス例	高齢者学級等の介護予防講座	運動器の機能向上教室 口腔機能向上教室 認知症予防教室 うつ・閉じこもりの相談 ミニディサービス	要介護1 ～要介護5 サービス利用で、生活機能の維持・改善を図る必要のある人
	地域の活動・介護予防等の事業	介護保険サービス	
●運動器の機能向上教室 ●口腔機能向上教室 ●認知症予防教室 ●うつ・閉じこもりの相談 ミニディサービス			介護予防サービス 介護サービス
各地区的介護予防サロン			

地域のネットワークで
みんなが安心! 元気!!

みんなの
話・和・輪

介護保険 石川町のいま②

介護予防の考え方

◆地域福祉ネットワーク標語

「地域みんなで、気にかけあい・見守りあい・声かけあつて、誰もが安心して暮らせる地域づくりを」

②転居したら、車検証の住所変更を運輸支局で登録しましょう。住民票を異動しても車検証の住所は変わりません。運輸支局に登

り出したり、廃車したりしたときは必ず運輸支局で3月31日までに登録します。3月31日までに登録手続きが終了しないと自動車税が課税されます。

①抹消等の手続きは、3月31日までに運輸支局で行いましょう。自動車を譲渡したり、下取りに出したり、廃車したりしたときは必ず運輸支局で3月31日までに登録します。

～自動車税トラブル防止3カ条～
①自動車税トラブル防止3カ条～
②自動車税トラブル防止3カ条～
③自動車税トラブル防止3カ条～

前0時)現在で運輸支局の登録名義人である所有者(割賦販売による購入の場合は使用者)が、5月31日までに納めることになります。(平成26年度の納期限は、6月2日㈪です)

次のことについて自動車税トラブルを防ぎましょう。

車の登録 忘れていませんか



録しましょう。やむを得ず手続きがないときは、県中地方振興局県税部にご連絡ください。
③納税証明書は車検証といっしょに大切に保管しましょう。

自動車の継続検査(車検)を受ける際には納税証明書が必要です。自動車税を納めたときに交付される領収証書に納税証明書がついています。

また、リサイクル券も次回車検時、廃車時に必要となりますので、廃車時まで車検証と共に大切に保管してください。

※登録手続きを依頼した場合は、登録が済んでいることを必ず確認しましょう。

●お問い合わせ先

・東北運輸局福島運輸支局
福島市吉倉字吉田54

☎ 050-15540-12015

・いわき自動車検査登録事務所
いわき市内郷綴町
舟場1-1-35

☎ 050-15540-12016

●自動車税について
・県中地方振興局県税部課税第一課
郡山市麓山1丁目1番1号

☎ 024-935-11261

確認しましょう！最低賃金

福島県最低賃金 (地域別最低賃金)		最低賃金額 (時間額)	効力発生日
		675円	平成25年10月6日

※最低賃金は、常用・臨時・パート・アルバイトなどの名称にかかわらず、福島県内の事業場で働く全ての労働者に適用されます。

次の業種で働く方には、「特定(産業別)最低賃金」が適用されます。

特定(産業別) 最低賃金	非鉄金属製造業	789円	平成25年12月18日
	計量器・測定器・分析機器・試験機・測量機械器具 ・理化学機械器具、時計・同部品、眼鏡製造業	774円	平成25年12月27日
	電子部品・デバイス・電子回路、 電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業 (医療用計測機器製造業(心電計製造業を除く)を除く)	741円	平成25年12月7日
	輸送用機械器具製造業	776円	平成25年12月27日
	自動車小売業 (二輪自動車小売業(原動機付き自転車を含む)を除く)	772円	平成25年12月18日

※次に掲げられる者は除かれますが、福島県最低賃金(675円)が適用されます。

①18歳未満又は65歳以上の者

②雇入れ後3月末満の者であって、技能習得中の者

③清掃、片付けその他これらに準ずる軽易な業務に主として従事する者

④①～③のほか「電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業」にあっては、小型電動工具若しくは手工具を用いて行う穴あけ、かしめ、巻線、組線、取付け又は小物部品の包装若しくは箱入れの業務に主として従事する者

(注1) 次の賃金は、最低賃金の計算には含まれません。

精皆勤手当、通勤手当、家族手当、結婚手当、賞与等、時間外・休日・深夜手当

(注2) 日給制、月給制、歩合給制の賃金については、1時間当たりの賃金額が、最低賃金の時間額を上回らなければなりません。

詳しくは、福島労働局賃金室(☎024-536-4604)、須賀川労働基準監督署(☎0248-75-3519)までお問い合わせください。



農畜産物の放射能測定検査 にかかる費用を助成します

町では、東京電力福島第一原発事故により、農畜産物の出荷・販売に影響を受けている生産者が方が、風評被害の払拭と食の安全性を確保するため、独自に行う農畜産物の放射能測定検査にかかる費用に対し補助金を交付します。

対象者

町内に住所を有し、出荷・販売

を目的として農畜産物等の放射能測定を独自に実施した方

対象経費

①農畜産物の放射能測定にかかる

経費

②土壤等作物の栽培に欠かせない

資材等の測定にかかる経費

補助金の額

放射能測定にかかる経費で1検体2万円を上限とします。

申請の方法

助成を希望する方は、所定の申請書に記入の上、検査料の支払完了を証する書類（領収書）及び検査完了を証する書類（検査結果）を添付し産業振興課農政係まで提出してください。

●申込期限 3月31日(月)
●お申込み・お問い合わせ先

産業振興課

農政係
☎ 26-19126



福島財務事務所 からのお知らせ

福島財務事務所では、借金を抱えお悩みの方々からの相談に応じる「多重債務相談窓口」を設けています。借金問題はさまざまな方法で解決できます。一人で悩まずにご相談ください。

また、「なりすまし詐欺」等の金融犯罪被害に遭わないための「出前講座」を行っています。料金は無料ですので、お気軽にお問い合わせください。

●相談窓口

福島財務事務所 理財課
福島市松木町13-2

●受付時間

月曜日から金曜日（祝日、年末年始を除く）
午前8時30分～午後5時15分

●お問い合わせ先

福島県看護会館みらい
(郡山市本町1丁目20番24号)

●多重債務相談窓口直通

☎ 024-1533-10064
福島財務事務所 理財課

☎ 024-1533-10303

●会場

午後0時10分～午後1時
・事業所PRタイム

午後0時10分～午後1時
・合同就職面接会

正午～午後0時10分
・オリエンテーション

ふくしま大卒等合同就職面接会を開催します

石川町地域公共交通総合連携計画(素案)パブリックコメントの実施について

平成26年3月新規大学等を卒業予定の方、平成23年3月以降に卒業して現在就職活動をしている方

を対象に、正社員で雇用する計画のある県内企業との面接会を開催します。ぜひご参加ください。

●開催日
3月10日(月)
（県内企業35社が参加予定）

●実施内容
・事業所PRタイム
午後0時10分～午後1時
・合同就職面接会
午後1時30分～午後3時45分

●会場
午前8時30分～午後5時15分
福島県看護会館みらい
(郡山市本町1丁目20番24号)

●その他
正午～午後0時10分
・オリエンテーション

午後0時10分～午後1時
・事業所PRタイム

午後1時30分～午後3時45分
・合同就職面接会

午前8時30分～午後5時15分
福島県看護会館みらい
(郡山市本町1丁目20番24号)

●意見募集期間
2月3日(月)～2月28日(金)

●意見等を提出できる方
(1)町内に在住、通学もしくは通勤している方

●意見等を提出できる方
(1)町内に在住、通学もしくは通勤している方

●意見募集期間
2月3日(月)～2月28日(金)

●意見等を提出できる方
(1)町内に在住、通学もしくは通勤している方

●意見等を提出できる方
(1)町内に在住、通学もしくは通勤している方

●意見等を提出できる方
(1)町内に在住、通学もしくは通勤している方

●意見等を提出できる方
(1)町内に在住、通学もしくは通勤している方

●意見等を提出できる方
(1)町内に在住、通学もしくは通勤している方

●意見等を提出できる方
(1)町内に在住、通学もしくは通勤している方

・町ホームページ
意見等の提出方法
意見提出用紙に氏名、性別、年齢、住所、電話番号を明記の上、

・郵送 〒963-17893
石川町字下泉153-12
・FAX 0247-126-0360
ishikawa.fukushima.jp

・持参 総務課政策推進係

・意見等の取扱い
ご意見は、意見の概要としてまとめられます。なお、住所、氏名などの個人情報を公表することはあります。



(正午)
地産地消や地域間交流による
「大鍋大会」、地元食材を生かした
「試食会・特産品販売」等を行
います。

(午前10時40分)
地域活性化へ向けた取り組みを紹介
します。
講師：宮城大学教授 平岡善造氏

(午前10時45分)
域活性化へ向けた取り組みを紹介
します。
講師：中谷自治センター
内容

(午前10時45分)
域活性化へ向けた取り組みを紹介
します。
講師：中谷自治センター
内容



●
日時 2月9日(日)
場所 中谷自治センター
内容

●
日時 2月9日(日)
場所 中谷自治センター
内容

●
日時 2月9日(日)
場所 中谷自治センター
内容

●
日時 2月19日(水)
場所 石川町保健センター
内容

●
日時 2月19日(水)
場所 石川町保健センター
内容

●
日時 2月19日(水)
場所 石川町保健センター
内容

●
日時 2月19日(水)
場所 白河商工会議所2階交流室
(白河市道場小路96-15)
2月20日(木)
午後1時30分～午後3時50分

●
日時 2月19日(水)
場所 石川町総合体育館ミニーティング
ルーム
相談時間
午前10時から午後3時まで

●
日時 2月27日(木)
場所 老人福祉センター
お問い合わせ先
石川町社会福祉協議会
☎ 261-33793

●
日時 2月27日(木)
場所 老人福祉センター
お問い合わせ先
石川町社会福祉協議会
☎ 261-33793

●
日時 2月27日(木)
場所 郡山年金事務所
予約受付
☎ 024-9332-13434

石川町まちづくり 交流会を開催します

町民と行政による協働のまちづ
くりを推進するため、「交流の場」
「学びの場」「夢を語る機会」とし
て「2014石川町まちづくり交
流会」を開催します。

●
日時

2月9日(日) 午前9時45分～

●
場所

中谷自治センター

●
内容

町内の取組み事例発表

●
(午前10時10分)

石川地区まちづくり委員会の地
域活性化へ向けた取り組みを紹介
します。

●
基調講演 (午前10時40分)

地域活性化へ向けた取り組みを紹介
します。
講師：中谷自治センター
内容

●
基調講演 (午前10時45分)

(午前10時45分)

地域活性化へ向けた取り組みを紹介
します。
講師：中谷自治センター
内容

相談

弁護士による無料 相談会のお知らせ

返済できない借金（多重債務）
で悩んでいませんか？借りては返
す日々に悩んでいませんか？

多重債務は放置したままでは
いつまでたっても解決することは
できません。返済に追われて苦し
い生活を送るより、一日も早く借
金を整理して、落ち着いた生活を
取り戻しましょう。

また、「高額の品物を買わされ
てしまつた」などのトラブルを抱
えてしまった方の相談に応じます。
相談は無料で、秘密は厳守します。

※予約制となりますので、事前に
保健センターに電話で申し込みく
ださい。

●
お申し込み・お問い合わせ先
保健センター
☎ 261-8416

●
法律相談 「原子力損害賠償巡回
相談会」のお知らせ

●
福島県では、弁護士による対面
の法律相談を実施しています。相
談料は無料です。なお、相談を希
望される場合、事前予約が必要と
なりますのでご注意願います。

●
お申し込み・お問い合わせ先
保健センター
☎ 261-8416

いじの健康 相談会のお知らせ

心の病気で悩んでいる方やその
家族に向けた心の相談会を実施し
ます。相談は無料で、秘密は厳守
します。

●
日時 2月12日(水)
場所 石川町保健センター
内容 相談及び助言指導など
担当 コスモス通り
心身医療クリニック
院長 圓口 博史氏

●
日時 2月12日(水)
場所 石川町保健センター
内容 保健センターに電話で申し込みく
ださい。
お申し込み・お問い合わせ先
保健センター
☎ 261-8416

●
日時 2月12日(水)
場所 石川町保健センター
内容 保健センターに電話で申し込みく
ださい。
お申し込み・お問い合わせ先
保健センター
☎ 261-8416

郡山年金事務所による予約制 の出張相談会を開催します

●
日時 2月10日(月)
2月25日(火)
午前10時～午後3時
場所 老人福祉センター
お問い合わせ先
石川町社会福祉協議会
☎ 024-523-11501

●
日時 2月10日(月)
2月25日(火)
午前10時～午後3時
場所 老人福祉センター
お問い合わせ先
石川町社会福祉協議会
☎ 024-523-11501

●
日時 2月10日(月)
2月25日(火)
午前10時～午後3時
場所 老人福祉センター
お問い合わせ先
石川町社会福祉協議会
☎ 024-523-11501

●
日時 2月10日(月)
2月25日(火)
午前10時～午後3時
場所 老人福祉センター
お問い合わせ先
石川町社会福祉協議会
☎ 024-523-11501

※予約電話は午前8時30分～午後
5時15分までです。
お問い合わせ先
町民生活課 国保年金係
☎ 261-9121

定例行政相談

行政相談委員による定例行政相
談を次により行います。

●
日時 2月15日(土)
午前9時～正午
場所 石川町公民館
お問い合わせ先
石川町社会福祉協議会
☎ 024-523-11501

●
日時 2月15日(土)
午前9時～正午
場所 石川町公民館
お問い合わせ先
石川町社会福祉協議会
☎ 024-523-11501

●
日時 2月15日(土)
午前9時～正午
場所 石川町公民館
お問い合わせ先
石川町社会福祉協議会
☎ 024-523-11501

●
日時 2月15日(土)
午前9時～正午
場所 石川町公民館
お問い合わせ先
石川町社会福祉協議会
☎ 024-523-11501

●
日時 2月15日(土)
午前9時～正午
場所 石川町公民館
お問い合わせ先
石川町社会福祉協議会
☎ 024-523-11501





国保だより

国保の届け出忘れていませんか？

国保に加入したり、やめるときは**14日以内**に国保の窓口へ届け出が必要です。

忘れずに届け出をしましょう。

«国保に加入するときはこんなとき»

- 職場の健康保険などをやめたとき（退職日の翌日）
- 他の市区町村から転入してきたとき
(職場の健康保険などに加入していない場合)
- 子どもが生まれたとき
- 生活保護を受けなくなったとき

加入の届け出が遅れると…

加入資格を得た月（届出日ではない）までさかのぼって保険税を納めることになります。また、保険証がないため、その間にかかった医療費は全額自己負担となります。

«国保をやめるときはこんなとき»

- 職場の健康保険などに加入したとき
- 他の市区町村へ転出したとき
- 死亡したとき
- 生活保護を受けるようになったとき
- 後期高齢者医療制度の対象となったとき
(75歳になり対象となるときは届け出不要)

やめる届け出が遅れると…

資格がなくなったあと、国保の保険証で診療を受けると、国保で負担した分の医療費はあとで返していただくことになります。また、ほかの健康保険などに加入すると、保険税（料）が二重払いになってしまうこともあります。

◆お問い合わせ先 町民生活課 国保年金係 ☎ 26-9125

「生活習慣改善のポイント」 ~暮らし方が今のあなたをつくります~

10月に行った健診の結果で気になる方を対象に、生活習慣の改善のための説明会が始まりました。そのままにしておくと、虚血性疾患（狭心症や心筋梗塞等）や脳卒中、糖尿病になる恐れがあるため、軽い段階で改善に向けて取り組んでいただくのが目的です。福島県の中でも特に本町の循環器疾患の罹患者が増えています。

どうしてこうなったのでしょうか。内臓脂肪がたまり腹囲や体重が増えたのは、食事で摂取するエネルギーと生命維持や生活の営みで消費するエネルギーの収支バランスが崩れ、摂取エネルギーのほうが消費エネルギーよりも多くなっているからです。体重の変化で「年々少しづつ増えている人」は、ほんの少しのエネルギー過剰が積み重なって今があると考えられます。例えば、毎日飴玉を1個食べると30kcal、1年後は1.6 kg増。ポテトチップを10～15枚食べると100kcal、1年後は5.2 kg増。「あるときを境に急激に増え、その後は横ばいの人」



は結婚や一人暮らしなどがきっかけで運動をしなくなった、仕事の付き合いで飲食する機会が増えたなどが考えられます。

暮らし方が今の自分自身を作っていることを自覚して、アルコールや食事の食べ方に注意する（例えば、寝る前3時間前には晩ご飯を食べ終わる等）、散歩などの有酸素運動を自分の生活に無理なく組み込むなど、次の健診までに実践してみましょう。



●お問い合わせ先 保健センター ☎ 26-8416

自殺対策予防標語
「家族愛・地域の愛で自死防止」

TOWN EVENT CALENDAR

石川町 2~3月の主な予定

2月 ● February

15 土		
16 日	在宅当番医	とりごえ整形外科
17 月		クリニック
18 火		
19 水	弁護士相談会 (13:30~)	保健センター
20 木	献血 (10:00~)	石川町役場ほか
21 金	子ども遊び教室 (9:30~)	中谷自治センター
22 土		
23 日	在宅当番医	角田内科医院 (浅川町)
24 月		
25 火		
26 水	1歳児教室 (9:30~)	保健センター
27 木	3歳3か月児健診 (13:00~)	保健センター
28 金	子ども遊び教室 (9:30~)	中谷自治センター

今月の納期

- 2月25日(火)までに納めましょう
国民健康保険税(第8期)
- 2月28日(金)までに納めましょう
後期高齢者医療保険料(第7期)

3月 ● March

1 土	献血 (11:30~)	ヨークベニマル
2 日	在宅当番医	石川中央医院
3 月		
4 火		
5 水		
6 木	1歳6か月児健診 (13:00~)	保健センター
7 金	子ども遊び教室 (9:30~)	中谷自治センター
8 土		
9 日	在宅当番医	ひらた中央病院 (平田村)
10 月		
11 火		
12 水	6~7か月児教室 (9:30~)	保健センター
13 木	3~4か月児健診 (13:00~)	保健センター
14 金	子ども遊び教室 (9:30~)	中谷自治センター



(平成25年12月1日~12月31日までの届出分で掲載希望のあった方 敬称略)

Hello baby



Couple



Condolence



氏名	保護者	住所
山田 喜祐 (昌平・佐那子)	下 泉	
澤村 侑信 (信治・享子)	鹿ノ坂	
矢吹 心 (義裕・宏美)	曲木	
郷 柚月 (元・美穂子)	新屋敷	
伊藤 光希 (正則・亞矢子)	双里	
紀陸 文平 (洋平・聖子)	塩沢	
吉田 遥香 (嘉治・明美)	双里	
丹内 楓花 (和彦・貴子)	塩沢	
矢内 桜羽 (寿治・祐子)	南山形	

新郎	新婦	(住所)
小豆畠宗昂 (山形)	鈴木朋美 (白河市)	
緑川 幸一 (山形)	鈴木加代子 (形見)	
田子 雄樹 (境ノ内)	櫻井 未歩 (北町)	



氏名	住所
吉田 昭代 (下泉)	
石塙 文三 (鹿ノ坂)	
房芳 (中田)	
塙田 マリ子 (屋敷ノ入)	
塙田木 ミナ子 (新町)	
塙田木 ミミエ (中野)	
塙田木 セイ (板橋)	
塙田木 コ (新町)	
塙田木 義嘉 (板橋)	
塙田木 茂 (新下泉)	
塙田木 和一 (塩沢)	
塙田木 嘉茂 (沢井)	
塙田木 友喜 (新屋敷)	
塙田木 嘉茂 (外見)	
塙田木 嘉茂 (元見)	
塙田木 嘉茂 (字新屋敷)	
塙田木 嘉茂 (赤羽)	
塙田木 嘉茂 (中田)	
塙田木 嘉茂 (中野)	
塙田木 嘉茂 (中里)	
塙田木 嘉茂 (双里)	
塙田木 嘉茂 (山形)	



【施設紹介】

野木沢小学校は、全校生116名で、今年創立140周年を迎えるました。校歌の歌詞にもあるように、校庭には「希望ヶ丘」があり、休み時間になると、子ども達は元気に遊んでいます。丘の木々は四季の彩りがとても素晴らしい、子ども達の心を潤わせています。

「夜中の12時、宇宙のトビラ」

「宇宙たんけんに行つたよ」



やぶき しゅん
矢吹 駿さん(2年)

宇宙たんけんしたよ! ドライブしたりジヤンプしたりしていたら、たいへん! うずにまきこまれちゃった!!



いわさき かのん
岩崎 華音さん(4年)

不思議な時計は、夜中の12時になると、宇宙へのトビラが開きます。わたしはそこに進んでいきます。



「一枚のもみじ」

にへい あやこ
二平 彩子さん(6年)

この絵は、「ひとりぼっちじゃないよ」というテーマにして、イノシシから見える自然をていねいに描きました。

編集後記

まだまだ寒い季節が続いています。寒さが苦手なのでこの時期は運動不足気味です。冬の楽しみの一つにウインターフィールドがありますがほとんど行ったことがなく、今思えば前からいろいろなことをやってみてもよかったなと思ったりもします。2月7日からはロシアのソチで第22回オリンピック冬季競技大会が開催されます。熱い戦いで日本にたくさんの勇気と感動を与えてほしいと思います。(佐久間)

町民憲章

1. 自然と文化を愛し
豊かな町をつくりましょう
2. 親切と勤労をむねとし
住みよい町をつくりましょう
3. 歴史と未来をみつめ
誇りある町をつくりましょう

みんなで防犯 子ども防犯呼びかけ隊

●今月の隊長（広報無線の声）

母畑小学校 6年 関根 拓海さん



- Q. 毎日の通学などで気をつけていることは？
 A. グリーンゾーンをきちんと歩いて車に気をつけて歩いています。小さい子たちが大丈夫か確認しています。
 Q. 将来の夢を聞かせてください。
 A. プロ野球選手になることです。田中投手と島捕手のバッテリーがかっこよく、あこがれたからです。

表紙の写真

野木沢保育所に通う草野 勝斗（まさと）くん、祖父の耕治さん、祖母の和子さんです。



町の人口

●1月1日現在住民基本台帳●		() 内前月比
男	16,847人	(△32)
女	8,209人	(△13)
世帯数	8,638人	(△19)
	5,768戸	(△ 2)